

## 第17回 ウィンタークライマーズミーティング 2025 企画書

文責：宇野 吉彦

### はじめに

ウィンタークライミング（WCM）は2025年で17回目を迎えます。今回の会場は北海道十勝山系にある上ホロカメットク山(上ホロ)の岩場です。北海道内陸部に位置しているということもあり、冬には寒さと風雪が厳しい中、“日本のヴェンネビス”とも呼ばれることもある本格的な冬壁の登攀を楽しむことができます。

既存のルートも初級者から上級者向けのものまで揃っていますが、何よりも上ホロの壁の魅力は、マイナーなものも含めればクライマーがヴァリエーションに富んだラインを創造する余地が残っていることです。大きく分けて化物岩、八手岩、そして頂上直下に聳える正面壁からなるこのエリアでは、地元主催も含めたWCMが何度も開催され、本格的なクライミング実践の場が提供され、時にはミーティング中に新たなルートが引かれたこともありました。

冬の上ホロは、昔から多くのクライマーに愛され、登られてきました。そうした登攀は、近年海外クライミングでの活躍が目覚ましい道内の若手クライマーたちの下地ともなっているようです。そのような上ホロで全国からのクライマーとともにWCMを実施することができれば、全国的なアルパインクライマーのレベルアップはもちろん、道内のクライマーたちの刺激となると考えられます。そのような可能性とモチベーションを原動力に、今日こうして道内外の関係者の皆様にサポートをいただきながら、本番に向けて準備を進められるのは喜ばしい限りです。

WCMに興味がある方、本場の冬壁にチャレンジしたい方、北海道のウィンタークライミングに興味あったけど情報と機会がなくて二の足を踏んでいた方、もちろん本来の目的である交流・パートナー探しの方も歓迎いたします。

### 1. 開催目的

#### a) アルパインクライマーの交流

ロープを結びあい実際のクライミングすることによって有意義な交流を目指す。

#### b) 日本の冬期登攀をより深く味わうためのスタイルの模索

トラディショナルなウィンタークライミングを実践すること。具体的には、残置物を一切使わずに全てのプロテクションを自分でセットし、既成ルートにとらわれることなく自由な発想によってルートを選ぶスタイルを指す。

### 2. 日程

2025年2月23日(日)～24日(月) (2日間)

### 3. 実施体制

主催：ウインタークライマーズミーティング

運営：ミーティング参加者による共同運営

### 4. 開催地

登攀エリア：北海道 上ホロカメットク山の岩場（正面壁、八手岩、化物岩周辺）

行動概要：

1日目 十勝岳温泉凌雲閣前集合（7:00 予定） ～各ルート登攀

～ 十勝岳温泉凌雲閣上富山荘宿泊・懇親会

2日目 有志による登攀、幹事は撤収作業

※日帰りでの参加も可能です、御相談下さい

### 5. 事故対策

1) 各パーティーは、無線携行によって定時連絡を行う。

2) 登山届は世話役から一括で地元警察に提出する。

### 6. 参加者

#### 1) 参加者の募集方法について

趣旨に賛同するクライマーを個別に招待するという募集方法をとる。

初参加の方は過去に参加したことのある方2名の推薦を必要とする。

長時間行動となるアルパインクライミングとなるため、安全面を考慮してこのような方法にした。

※皆さまが参加希望者を勧誘する場合、熟慮の程をお願いいたします。企画内容を充分ご理解いただいた上でお申し込みくださいませ。

#### 2) 参加条件等

A： 趣旨、内容に賛同していただける方。

B： 山岳保険に加入済みであること。家族、所属クラブ等への計画書の提出。

※個人山行として計画書を提出し、必ず所属山岳会の承認を受けてください（無所属の方は、ご家族の承認を受けてください）。

C： 冬山の経験があり、長時間行動に耐える体力、急傾斜の冰雪壁の登下降がしっかり出来ること。クライミング能力は特に問わないが行動が迅速に行えること。

長時間行動となるため、世話役の方でメンバーの選定をさせていただく場合があります。その点、ご容赦ください。

D： 募集人員 約20名程度（応募者多数の場合には選考をさせていただきます）

E： 今ミーティング期間内のクライミング中における全ての結果は自己責任である ことに同意できる方。

F： 万一、山岳事故発生時には全員で協力し、チームレスキューを行うことに同意できる方。

### 3) 参加費について

現在検討中（最終案内時に連絡いたします...数千円程度）

※道外参加者には参加費あるいは交通費に一部助成を検討しています（参加者が確定し次第、助成額は決定）

### 4) 懇親会でのスライドショーについて

今回もやります。発表者はお楽しみに....

## 7. 申し込みについて

### 参加申込期限 2024年11月30日（日）まで

ホームページのメインページにある"参加を申し込む"というボタンをクリックして必要事項を記入の上で応募ください

### 12月13日を目安に参加の可否をご連絡します

開催10日前迄には集合場所と時間、ルート選定、参加メンバー表とパーティー編成について最終案内をメールアドレス宛にお送りいたします。

\*体調不良等のため、突然のキャンセルは仕方がないものです。  
当日に突然編成変更があり得ることはご理解ください。その際、必ず合議の上で決定していきます。

## 8. 宿泊先について

十勝岳温泉凌雲閣上富山荘に宿泊（本館から数十メートル離れたところにある別館）となります。温泉は本館を利用できます。冬季で水道が凍っているために、水も本館から汲み、トイレも本館のものを利用します。

くれぐれも、酔っ払っても上富山荘近くで用をたすなど無いように。また寝袋持参で安く宿泊予定です。

自炊ですので、調理のお手伝いよろしくお願いします。

なお、22日に前泊も可能です。希望の方は参加申し込みの欄でその旨の希望をご記入ください(別途追加にて宿泊費を徴収します。前泊時の食事などの提供はありませんので自身で準備してください)。

## 9. エリア変更と中止の可能性について

今回の会場/上ホロの岩場は悪天時には雪崩のリスクが高くなるエリアもあり(正面壁、八手岩など)、過去には痛ましい事故も起こっています。現地入りしたタイミングでパーティ毎に判断いただき、ルート変更(化物岩への)・交流会のみ参加にさせていただくことは問題ございません。

## 10. 留意事項

### 1) 参加者は次のものを用意して下さい。

冬季登山・登攀に必要なクライミングギア一式。アプローチ用のスキーあるいはスノーシューなど  
山域・壁の概念図は最終案内時に改めてご案内しますが参加者ご自身でも情報収集をお願いいたします。期間中の全ての行動食（予備食）・ビバーク装備（パーティーリーダーはツェルト、マイクロガスヘッド、小ガス缶、コッヘルなど）救急処置品等。使用する宿泊用マット、シュラフ、個人用食器。酒・ツマミなど嗜好品を少々

\* 小ガス缶など飛行機の関係で持参が難しい場合には貸出も可能です。ご相談ください。

### 2) 主催者側は次のものを用意いたします。

- 2.1) 2月23日の夕飯、2月24日の朝食
- 2.2) 分離型コンロ、大鍋、石油ストーブ等
- 2.3) ガス缶
- 2.4) 無線機パーティ台数分、ベーススタッフ分
- 2.5) 懇親会用のアルコール飲料（ビール 350ml×2 本程度）

### 3) 山岳事故対応について

世話役を含めた複数の主要メンバーが必要と判断した場合、参加メンバー全員が協力してレスキューにあたります。その際に発生する費用については事故当事者の山岳保険で対応願います。初動時の諸経費の立替には応じる予定ですが、世話役、参加メンバーともに一切の費用負担をいたしません。ご家族には必ずその旨、お伝えください。

### 4) 参加申し込み後の辞退について

速やかに申し込み先にご連絡ください... キャンセル料が発生する場合があります。

## 11. 企画メンバー

宇野吉彦（世話役）

小林真（世話役）

辻野健治（遭対-留守役）

板橋輝海（当日サポートスタッフ）

濱田裕章（当日サポートスタッフ）

桑原郁美（当日サポートスタッフ）

杉嶋純（当日サポートスタッフ）

アドヴァイザー

馬目弘仁

大末篤司